

—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

パレスチナ：ガザの財政状況悪化

ガザのハマースは、財政面で厳しい状況にある。10月9日、ロイターは、ガザのハマースが8月分の公務員の給与の77%しか払えず、9月分の支払いについては定かではないと報道した。ガザのハマースの財政状況がどの程度悪化しているか詳細は不明であるが、財政が逼迫していることは確かだろう。

エジプト軍は、2013年3月から、エジプト・ガザ境界に掘られた地下トンネルに対する本格的な封鎖作戦を開始した。報道によれば、4月にはトンネルへの海水注入を実施し、7月中旬までにトンネルの約9割を破壊した。9月初旬、エジプト軍はトンネルの95%を破壊したと発表している。同措置に加えて、エジプト軍は、9月からガザとのエジプト側境界地帯で、幅25m～1kmの更地の緩衝地帯の設置を開始した。これはトンネルの出口を作れなくするための措置で、エジプト側の境界地帯にあった住宅を破壊している。

ハマースが、地下トンネルの物資流通から得ていた「税収」の推定は、月の予算の4割あるいは7割といわれる。7月時点で、ハマースは給与支払いのために銀行から資金を借りていると報道されていた。

エジプトからの密輸が停止した後、イスラエル側からの物資搬入が増加した。7月末には、イスラエルからガザへの物資輸送を行うトラックの1日平均台数が、250台から280台に増加した。9月中旬、イスラエルは、過去6年間で初めてガザの民間企業向けの建設物資の搬入を認めたと報道されていた。

エジプト暫定政権は、ガザのハマースが、エジプトの武装勢力と関係していた疑惑があるため、またシナイ半島の密輸組織がガザへの武器を含む密輸を行い、利益を得ていたこともあり、シナイ半島での武装勢力掃討作戦と平行して、ガザのハマース「政権」に対して厳しい対応を行っている。こうした対応は、当面、緩和される可能性が低く、ガザのハマースは、政治的、財政的に厳しい状況に直面する公算が大きい。

(中島主席研究員)